

○国家公安委員会規則第十号

海事産業の基盤強化のための海上運送法等の一部を改正する法律（令和三年法律第四十三号）の施行に伴い、及び関係法律の規定に基づき、海事産業の基盤強化のための海上運送法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係国家公安委員会規則の整備に関する規則を次のように定める。

令和四年三月三十日

国家公安委員会委員長 二之湯 智

海事産業の基盤強化のための海上運送法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係国家公安委員会規則の整備に関する規則

（警備業の要件に関する規則の一部改正）

第一条 警備業の要件に関する規則（昭和五十八年国家公安委員会規則第一号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

|  |  |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">改 正 後</p> | <p>(暴力的不法行為その他の罪に当たる行為)</p> <p>第二条 法第三条第四号の国家公安委員会規則で定める行為は、次の各号に掲げる罪のいずれかに当たる行為とする。</p> <p>〔一〇十 略〕</p> <p>十一 船員職業安定法(昭和二十三年法律第三百十号)第一百十二条第一号、第二号(第三十四条第一項、第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。)若しくは第五号又は第一百十四条第二号若しくは第三号(第六十一条第一項に係る部分に限る。)に規定する罪</p> <p>〔十二〇五十九 略〕</p> |
| <p style="text-align: center;">改 正 前</p> | <p>(暴力的不法行為その他の罪に当たる行為)</p> <p>第二条 〔同上〕</p> <p>〔一〇十 同上〕</p> <p>十一 船員職業安定法(昭和二十三年法律第三百十号)第一百十二条第二号(第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。)若しくは第六号又は第一百十四条第二号若しくは第三号(第六十一条第一項に係る部分に限る。)に規定する罪</p> <p>〔十二〇五十九 同上〕</p>   |

備考 表中の「」の記載は注記である。

(風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則の一部改正)

第二条 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則(昭和六十年国家公安委員会規則第一

号)の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

|  |   |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">改 正 後</p> | <p>(暴力的不法行為その他の罪に当たる行為)</p> <p>第六条 法第四条第一項第三号(法第三十一条の二十三において準用する場合を含む。)の国家公安委員会規則で定める行為は、次の各号に掲げる罪のいずれかに当たる行為とする。</p> <p>〔一〇十 略〕</p> <p>十一 船員職業安定法(昭和二十三年法律第百三十号)第百十二条第一号、第二号(第三十四条第一項、第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。)若しくは第五号又は第百十四条第二号若しくは第三号(第六十一条第一項に係る部分に限る。)に規定する罪</p> <p>〔十二〇五十九 略〕</p> |
| <p style="text-align: center;">改 正 前</p> | <p>(暴力的不法行為その他の罪に当たる行為)</p> <p>第六条 〔同上〕</p> <p>〔一〇十 同上〕</p> <p>十一 船員職業安定法(昭和二十三年法律第百三十号)第百十二条第二号(第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。)若しくは第六号又は第百十四条第二号若しくは第三号(第六十一条第一項に係る部分に限る。)に規定する罪</p> <p>〔十二〇五十九 同上〕</p>  |

備考 表中の「」の記載は注記である。

(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律施行規則の一部改正)

第三条 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律施行規則(平成三年国家公安委員会規則第四号)

の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

|  |  |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">改 正 後</p> | <p style="text-align: center;">(暴力的不法行為等)</p> <p>第一条 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(以下「法」という。)第二条第一号の国家公安委員会規則で定める罪は、次のとおりとする。</p> <p>〔一〇十 略〕</p> <p>十一 船員職業安定法(昭和二十三年法律第三百十号)第一百十二条第一号、第二号(第三十四条第一項、第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。)若しくは第五号又は第一百十四条第二号若しくは第三号(第六十一条第一項に係る部分に限る。)に規定する罪</p> <p>〔十二〇五十九 略〕</p> |
| <p style="text-align: center;">改 正 前</p> | <p style="text-align: center;">(暴力的不法行為等)</p> <p>第一条 〔同上〕</p> <p>〔一〇十 同上〕</p> <p>十一 船員職業安定法(昭和二十三年法律第三百十号)第一百十二条第一号(第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。)若しくは第六号又は第一百十四条第二号若しくは第三号(第六十一条第一項に係る部分に限る。)に規定する罪</p> <p>〔十二〇五十九 同上〕</p>   |

備考 表中の「」の記載は注記である。

(暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則の一部改正)

第四条 暴力的不法行為その他の罪に当たる違法な行為を定める規則（平成三年国家公安委員会規則第八号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

|  |   |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">改 正 後</p> | <p>銃砲刀剣類所持等取締法第五条第一項第十七号の国家公安委員会規則で定める違法な行為は、次の各号に掲げる罪のいずれかに当たる行為とする。</p> <p>〔一〇十 略〕</p> <p>十一 船員職業安定法（昭和二十三年法律第三百十号）<u>第一百十二条第一号、第二号（第三十四条第一項、第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。）</u>若しくは<u>第五号</u>又は<u>第一百十四条第二号</u>若しくは<u>第三号（第六十一条第一項に係る部分に限る。）</u>に規定する罪</p> <p>〔十二〇五十九 略〕</p> |
| <p style="text-align: center;">改 正 前</p> | <p>〔同上〕</p> <p>〔一〇十 同上〕</p> <p>十一 船員職業安定法（昭和二十三年法律第三百十号）<u>第一百十二条第二号（第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。）</u>若しくは<u>第六号</u>又は<u>第一百十四条第二号</u>若しくは<u>第三号（第六十一条第一項に係る部分に限る。）</u>に規定する罪</p> <p>〔十二〇五十九 同上〕</p>  |

備考 表中の「」の記載は注記である。



(古物営業法施行規則の一部改正)

第五条 古物営業法施行規則（平成七年国家公安委員会規則第十号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

|  |   |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">改 正 後</p> | <p>(暴力的不法行為その他の罪に当たたる行為)</p> <p>第一条 古物営業法(以下「法」という。)第四条第三号の国家公安委員会規則で定める行為は、次の各号に掲げる罪のいずれかに当たたる行為とする。</p> <p>〔一〇十 略〕</p> <p>十一 船員職業安定法(昭和二十三年法律第百三十号)第百十二条第一号、第二号(第三十四条第一項、第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。)若しくは第五号又は第百十四条第二号若しくは第三号(第六十一条第一項に係る部分に限る。)に規定する罪</p> <p>〔十二〇五十九 略〕</p> |
| <p style="text-align: center;">改 正 前</p> | <p>(暴力的不法行為その他の罪に当たたる行為)</p> <p>第一条 〔同上〕</p> <p>〔一〇十 同上〕</p> <p>十一 船員職業安定法(昭和二十三年法律第百三十号)第百十二条第二号(第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。)若しくは第六号又は第百十四条第二号若しくは第三号(第六十一条第一項に係る部分に限る。)に規定する罪</p> <p>〔十二〇五十九 同上〕</p>   |

備考 表中の「」の記載は注記である。

(国家公安委員会関係自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律施行規則の一部改正)

第六条 国家公安委員会関係自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律施行規則(平成十四年国家公安

委員会規則第十一号)の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

|  |   |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">改 正 後</p> | <p>(暴力的不法行為その他の罪に当たる行為)</p> <p>第一条 自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律(以下「法」という。)第三条第四号の国家公安委員会規則で定める行為は、次の各号に掲げる罪のいずれかに当たる行為とする。</p> <p>〔一〇十 略〕</p> <p>十一 船員職業安定法(昭和二十三年法律第百三十号)第百十二条第一号、第二号(第三十四条第一項、第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。)若しくは第五号又は第百十四条第二号若しくは第三号(第六十一条第一項に係る部分に限る。)に規定する罪</p> <p>〔十二〇五十九 略〕</p> |
| <p style="text-align: center;">改 正 前</p> | <p>(暴力的不法行為その他の罪に当たる行為)</p> <p>第一条 〔同上〕</p> <p>〔一〇十 同上〕</p> <p>十一 船員職業安定法(昭和二十三年法律第百三十号)第百十二条第二号(第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。)若しくは第六号又は第百十四条第二号若しくは第三号(第六十一条第一項に係る部分に限る。)に規定する罪</p> <p>〔十二〇五十九 同上〕</p>  |

備考 表中の「」の記載は注記である。

(確認事務の委託の手續等に関する規則の一部改正)

第七条 確認事務の委託の手續等に関する規則(平成十六年国家公安委員会規則第二十三号)の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

|  |  |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">改 正 後</p> | <p>(暴力的不法行為その他の罪に当たる行為)</p> <p>第三条 法第五十一条の八第三項第二号ハの国家公安委員会規則で定める行為は、次の各号に掲げる罪のいずれかに当たる行為とする。</p> <p>〔一〕十 略〕</p> <p>十一 船員職業安定法(昭和二十三年法律第三百十号)第百十二条第一号、第二号(第三十四条第一項、第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。)若しくは第五号又は第百十四条第二号若しくは第三号(第六十一条第一項に係る部分に限る。)に規定する罪</p> <p>〔十二〕五十九 略〕</p> |
| <p style="text-align: center;">改 正 前</p> | <p>(暴力的不法行為その他の罪に当たる行為)</p> <p>第三条 〔同上〕</p> <p>〔一〕十 同上〕</p> <p>十一 船員職業安定法(昭和二十三年法律第三百十号)第百十二条第二号(第五十五条第一項及び第六十条第二項に係る部分に限る。)若しくは第六号又は第百十四条第二号若しくは第三号(第六十一条第一項に係る部分に限る。)に規定する罪</p> <p>〔十二〕五十九 同上〕</p>   |

備考 表中の「」の記載は注記である。

## 附 則

この規則は、海事産業の基盤強化のための海上運送法等の一部を改正する法律の施行の日（令和四年四月一日）から施行する。